

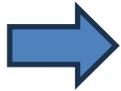
道路アセットマネジメントプラットフォーム
第8回国内支援委員会

第7回委員会で各委員から頂いた
ご意見に対する対応案について

第7回委員会で各委員から頂いたご意見一覧

① 道路AM成熟度評価

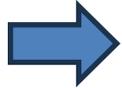
成熟度評価を活用すれば、事業で行ったキャパビルの効果を定量的に評価できるので、**各国のアセットマネジメントの特徴を分析してコンサルタント等に共有ことは有益**。また、**評価結果を途上国同士で比較することで情報共有や学びあいを行うことも効果的**。



後続のセッションにてご説明予定。

② RAMP事業戦略について

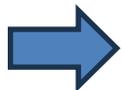
・**事業戦略については、短期、中期で数値化可能な項目を設定するとともに、中期・長期的なスパンで日本にとって本当に重要となる項目の成果が徐々に発現され、日本のプレゼンスが上がっていくといった両面を説明できると良い**。



後続のセッションにてご説明予定。

③ データフォーマットの統一化について

- ・途上国側での膨大なデータの管理を考慮すると、**データフォーマットの統一化は不可欠であり、日本のデータフォーマットや考え方を先方に共有していくことも考えられるのではないか**。
- ・(第7回では道路資産データベース構築を事例としてデータフォーマットの統一化に係る説明を頂いたが、) 橋梁版のデータフォーマットの統一化に関する話題提供を頂くと、統一化に向けた考え方が学べる有意義な機会となる。



データベースを既に有している国では、既存のデータベースを尊重する必要あることより、統一について必ずしも容易な課題でないが、勉強会の開催を企画したい。